

# 熊本の新しい力 **39歳**

## 西野だいすけ 通信



皆さま、こんにちは。西野だいすけです。「西野だいすけ通信」をご覧ください、ありがとうございます。

今回は、特別号第3弾として、私の基本理念やこれまでの歩みについてまとめました。

※創刊号～第7号と重複がありますが、あらかじめご了承ください。

◆ 昭和53年生まれ 39歳

◆ 熊本生まれ、熊本育ち

飽田町 (現・熊本市南区) 出身  
藤園中学校 / 熊本高校 卒業

◆ 東京大学 法学部 卒業

◆ 元 財務省 主計局主査

◆ 国会議員関係政治団体代表  
(衆議院議員 (候補者等))

### 基本理念

私、西野だいすけは、以下の3つを柱に据え、政治活動を行ってまいります。

#### 1. 「基本的なインフラ (基盤)」を創る

国民の皆さま一人一人が、それぞれの夢や目標、充実した人生に向かって、全力で人生を駆け抜けることができるよう、安心・安全に生活するための基盤 (基本的なインフラ) を維持・強化することが、政治が最低限果たすべき役割だと信じます。

#### 2. 「チャレンジする人で溢れる社会」を創る

チャレンジは、社会を進歩させ、社会に富を与えてくれるだけでなく、個々の人生を実り多きものにしてくれると信じます。法律や予算、教育のあり方を見直し、挑戦したい人たちが挑戦しやすい環境を整備し、より多くの人たちが挑戦したいと思える社会の実現を目指します。

#### 3. 「輝く熊本」を創る

愛する故郷、熊本を盛り上げるためには、何よりも、人口を増やすこと、せめて、人口減少に歯止めをかけることが重要です。そのために、①魅力ある仕事づくりと②住みやすいまちづくりを車の両輪として取り組みます。



討議資料

西野だいすけ通信 特別号Ⅲ (第8号)

平成29年9月発行

〈西野だいすけ事務所連絡先〉

住所：熊本市南区田迎5-1-30

TEL：096-379-6079

Email：info@daisukenishino.com

URL：http://daisukenishino.com

#### 後援会ご加入のお願い！

西野だいすけの政治理念にご賛同いただき、後援会へ加入していただける方を募集しています。西野だいすけの政治活動は、皆さまに支えていただいております。そのことを肝に銘じ、政治活動に邁進してまいります。後援会にご関心のある方は、ご連絡ください。

# 1. 「基本的なインフラ（基盤）」を創る

私たちは、ありがたいことに、現代の日本に生まれ育ちました。戦争や犯罪に煩わされることも少なく、平和に安全に生活しています。また、病気になっても、日本が世界に誇る医療制度が私たちを守ってくれますし、当たり前のように学校に行き、先生方や友人たちに囲まれて、質の高い教育を受けることができます。自分たちの努力や頑張り次第で、夢や目標、充実した人生に向かって、全力で人生を駆け抜けるための基盤が概ね整備されていると思います。

## 玉名市での懇親会（上）

今の私たちにとっては、当たり前とも思える社会ですが、歴史をさかのぼれば、あるいは、世界中を見渡してみれば、決して当たり前でないことが分かります。私たちが今住んでいる社会は、先人たちの地道な努力と苦労によって長い時間をかけて創られてきたありがたい社会です。私たちは、この社会を、守っていかなければいけませんし、よりよい社会の基盤を創って、次の世代に引き継がなければいけません。

## 荒尾市での懇談会（右）



### 具体的な方向性

◆ **財政**：財政は、社会保障や教育、道路など全ての行政サービスの基盤ですが、我が国の借金は、1,000兆円（対GDP比：200%）を超え、国際的に見ても最悪の水準です。経済の活性化による税収の増大、行政の無駄撲滅などによって、財政を立て直し、これらの行政サービスを将来世代に引き継がなければいけません。

◆ **外交・安全保障**：日本は、戦後一貫して、平和を守ってきました。しかし、平和というのは、「祈れば叶う」という類の単純なものではありません。地道な外交努力や自衛隊の方々の日頃の訓練などによって、初めて手にすることができるのです。北朝鮮がミサイルの発射実験という暴挙を繰り返すなど、国際情勢が大きく変化する中であっても、日米同盟を基軸として、重層的な安全保障を構築し、日本の平和と安全を守っていきます。

◆ **社会保障**：人生いつなんどきも順風満帆という訳ではありません。誰しもが老いを迎えます。また、病を患う時もあれば、職を失うこともあるでしょう。そんな場合に備えて、社会全体で支え合うためにあるのが社会保障です。受益と負担の関係を不断に見直し、持続可能な制度を再構築する必要があります。

◆ **教育**：どんな境遇に生まれ育った子にも、質の高い教育を受けさせ、等しくチャンスを与えることは、人々が、夢や目標を持って、全力で人生を駆け抜けるために必要な、大切な基盤です。ひいては、社会全体が活性化することにもつながります。



# 2. 「チャレンジする人で溢れる社会」を創る

スポーツや芸能の分野で夢を追い求めることも挑戦。子育てと仕事の両立を目指すことも、脱サラして起業することも挑戦。定年後、社会のためにボランティアの活動始めることも挑戦です。また、挑戦する人を全力で支えるという挑戦もあるでしょう。どんなことでもいい、自分にとって新たなこと、未だ到達できない場所に向かって努力すること、それらは全て挑戦です。

## 理由1：挑戦こそ、国力の源泉

資源も乏しく、国土の面でも決して恵まれているとは言えないこの国が、世界有数の経済大国として繁栄を謳歌できているのは、先人たちが、困難に直面し、苦しみがきながらも、挑戦し続けてきたからに他なりません。挑戦こそが、我が国の国力の源泉であり、唯一の資源であるといっても過言ではありません。

## 理由2：挑戦こそ、持続可能な社会への道

挑戦者が富を産み出してくれることによって、この国の所得が拡大し、教育やセーフティネットが維持・強化され、また、挑戦者が増えるという好循環を産み出すことができます。ひいては、財政再建への道が開けると同時に、持続可能な社会を形成することにつながります。

## 理由3：挑戦こそ、人生を豊かにする原動力

個々人の視点から見ても、チャレンジは重要です。挑戦する人は輝いているし、挑戦することこそが、一人一人の人生を豊かなものにしてくれると信じます。

## 具体的な方向性

### ◆ 挑戦したい人が挑戦しやすい環境を創る

- ✓ 挑戦者の参入や自由な発想を阻害する規制を徹底的に見直し
- ✓ 挑戦涵養的な（挑戦をじっくり生み出していくための）セーフティネットや保証制度のあり方について検討
- ✓ 海外展開などの新たな試みを奨励

### ◆ 挑戦したいと思う人を増やす

- ✓ 学校教育を通じて、様々な分野で挑戦した先人たちの人生から学ぶ機会を増やす
- ✓ 何歳になっても、新たな分野での挑戦ができるよう、大学や大学院での生涯学習を促進 他

## 3. 「輝く熊本」を創る

昨年一年間で、熊本県の人口は、約13,000人も減少してしまいました。震災の影響も大きいと思いますが、それだけではありません。なぜなら、震災以前から、熊本県の人口は、急激に減少し続けているからです。

経済とは、単純に言えば、労働力人口と生産性で決まります。若い世代を中心に、人口を増やし（少なくとも、減少に歯止めをかけ）、より多くの人によって、モノやサービスを生産し、消費していく、そういう経済を創っていく必要があります。

そのために、①魅力ある仕事づくりと②住みやすい町づくりを車の両輪として取り組んで参ります。

### （参考）荒玉地区の自治体の人口の推移

	平成22年	平成27年	増減
荒尾市	55,321	53,407	3.5% ↓
玉名市	69,541	66,872	3.8% ↓
玉東町	5,554	5,265	5.2% ↓
和水町	11,247	10,191	9.4% ↓
南関町	10,564	9,786	7.4% ↓
長洲町	16,594	15,889	4.2% ↓

※また、熊本市でも、平成28年（昨年）には**人口減少に突入**。



和水町での懇談会（上）



地元飽田地区で子供たちと餅つきした後（上）



天水町の夏祭りでビール早飲み競争に参加（上）

## 具体的な方向性

### ①魅力のある仕事づくり

- ✓ **農林水産業**は、熊本を支える、可能性あふれる産業です。ブランディング化や6次産業化によって付加価値を高めるとともに、ICT化等によって、効率性を高めます。また、海外の需要を取り込むため、海外展開を支援します。
- ✓ **観光**は、熊本が秘める大きな可能性の一つです。熊本城をはじめ、玉名の温泉、荒尾の世界遺産など豊富な観光資源に加え、来年・再来年のNHK大河ドラマによって、熊本、そして荒玉地区にスポットライトが当たる機会を活かさない手はありません。そのため、案内板や観光マップの充実・多言語化やWIFIの整備を早急に進めるとともに、円滑な交通手段の確保にも取り組みます。
- ✓ **リーディング企業**：上記に加え、中長期的な課題として、熊本の経済をグイグイ牽引してくれるような新たなリーディング企業の育成にも取り組みたいと考えます。国などの支援策を最大限活用しつつ、経営者同士が切磋琢磨できる環境を整え、みんなで成長しましょう！



## ②住みやすい町づくり

- ✓ **交通渋滞の緩和**：熊本に戻ってきて感じたことのひとつが渋滞の多さです。渋滞の緩和は、通勤通学のストレスを減らし、住みやすい環境を提供するだけでなく、円滑な流通を産み出すことによって、農産品等の高付加価値化に貢献します。
- ✓ **子育て環境の充実**：待機児童対策に万全を期します。また、東京などでは、土地の確保の問題から、保育の「量」を優先せざるを得ない面もありますが、熊本の場合には、保育の「質」の向上にも追求できると思います。子どもたちを伸び伸びとした環境で育て、無限の可能性を発揮することができるように、保育の「質」も追求します。 他

## (付 録) こ れ ま で の 歩 み



初節句@飽田町砂原の  
自宅前にて父と (👉)



飽田東保育園時代@運動会  
にて選手宣誓 (👉)

城東小学校時代@熊本城飯  
にて家族と花見 (👉)



東京大学  
時代@水  
球の試合  
会場にて  
仲間たち  
と (前列  
中央)  
(👉)



熊本高校時代@水球の練習  
の後、仲間たちと (2列目  
左) (👉)

財務省 時代@財務省入省  
式にて同期たちと (後列  
右から2人目) (👉)



米国コロンビア大学留学時代@  
卒業式にて親友2人と (👉)

財務省 主計局主査時代  
@主計局主査席にて (👉)



そして、熊本に帰郷。  
政治の道を志す。



## 西野だいすけ プロフィール

昭和53年熊本県飽託郡飽田町（現・熊本市南区）生まれ。飽田東保育園卒園、熊本市立城東小学校、藤園中学校、熊本県立熊本高校、東京大学法学部卒業。平成15年財務省入省。米国コロンビア大学公共政策大学院修了後、大臣官房秘書課課長補佐、復興庁参事官補佐、主計局主査などを経て、平成28年4月財務省退官。